

学校だより

令和7年10月3日

『歓』『敢』『寛』にあふれる ともに今を輝く学校づくり

NO. 23



素晴らしさを生徒の姿で見せて語れる学校!

10月1日(水)は、年に一度の「学校訪問」の日でした。香川県教育委員会・観音寺市教育委員会の方々、大野原小学校の藤田教頭先生、市内中学校の校長先生、地域の方々など、たくさんの方が来校され、学校の様子や子どもたちの授業での頑張りを見てくれました。

〈子どもたちの様子を見て〉

- ○どの生徒もとても良いあいさつをしてくれた。
- ○休み時間に次の授業準備に向かう姿勢があり、1分前には座って静寂をつくっている。
- ○前をしっかりと向いて、全員が授業に進んで参加している。グループ学習になると、和気あい あいで学び合っている。
- ○疑問をもったりやりたいことを進んでやったりと、自分から学んでいる。
- ○学習ファイルの積み重ねがあり、前時のワークシートを見て確認している生徒もいる。
- ○正しい空気の中で、しつかりとした学ぶ場になっている。
- ○姿勢良く聞き、頑張る姿を強く感じる。一人ひとりの表情が良く、真剣な様子である。
- ○素晴らしさを、実際に生徒の姿で見せて語れる学校である。

〈先生方の様子を見て〉

- ○先生方が一丸となって取り組んでいる。生き生きと授業している。
- ○にこやかな表情で、生徒との関係性もとても良い。学習課題も魅力的。テンポも良い。
- ○一手間を惜しまない努力を感じる授業ばかりである。高きをめざしている。

ほんの一部分の紹介ですが、来校されたどの方からも多くのお褒めの言葉をいただきました。いつも精一杯取り組んでいる子どもたちの姿や、いつも情熱を注ぎ献身的な努力を続けている先生方の素晴らしいところを見て、最高の評価をいただきました。とてもうれしく感じています。

















